

ルート証明書インストール手順について


1. ルート証明書について

ルート証明書とは、証明書の発行元(認証局)の正当性を証明する証明書の事です。この証明書の発行元(認証局)を信頼の基点と呼びます。e-Tax ソフト(WEB 版)では、以下の認証局を信頼の基点としています。

- 政府共用認証局(官職認証局)
- 政府共用認証局(アプリケーション認証局2)

利用者は e-Tax ソフト(WEB 版)を利用するにあたり、上記の認証局を信頼の基点とすることに同意した上で、ルート証明書をパソコンに組み込む必要があります。

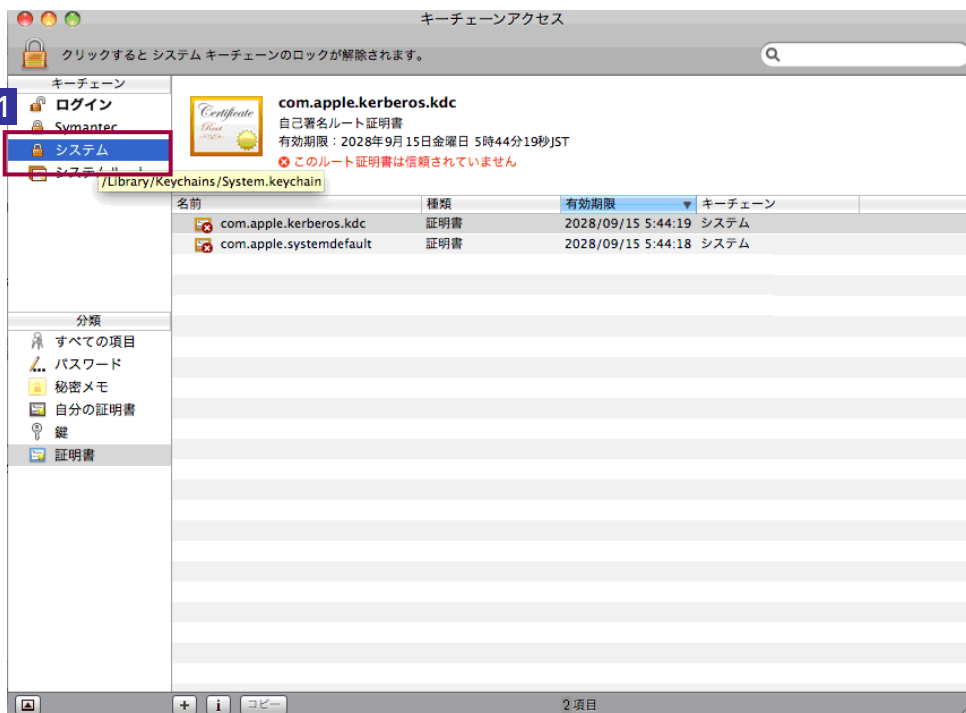
組み込んだルート証明書は、配付されたプログラム、受付システムから送信されたデータ、納税証明書、接続先のサーバが正しいものであるかを確認するために使用されます。

 **注意** 政府共用認証局(アプリケーション認証局2)については標準でインストールされている場合があります。「2-2. ルート証明書確認手順」に従って確認を行ってください。

2 . ルート証明書のインストール手順について

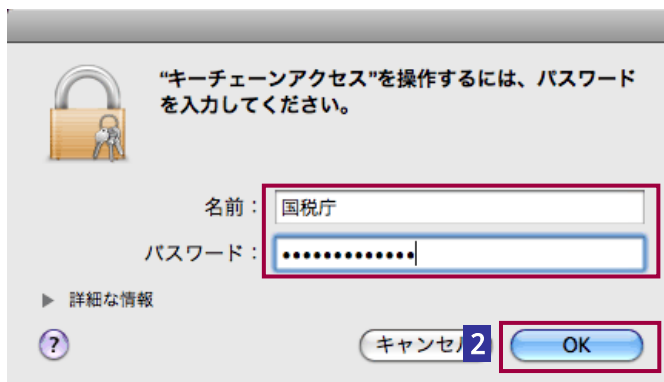
2-1. インストール手順

- 1 Finder から「アプリケーション」 - 「ユーティリティ」 - 「キーチェーンアクセス」を起動します。 **システム** を選択し、「ファイル」 - 「読み込み」から、『/Applications/eTax』内に存在する政府共用認証局（アプリケーション認証局 2）のルート証明書（APCA2root.der）を選択します。



認証画面が表示されます。

- 2 認証画面では、インストールするコンピュータの管理者権限を持つユーザのユーザ名、パスワードを入力し **OK** をクリックします。



3 下記画面で、**常に信頼** をクリックします。



! 手順3の画面は過去に「常に信頼」を設定している場合は、表示されません。
注意

以上で、政府共用認証局（アプリケーション認証局2）のルート証明書の登録は終了です。e-Taxソフト(WEB版)を使用するためには、以下の認証局の証明書も必要ですので、同じ手順で登録を行ってください。

OSCA2root.der : 政府共用認証局（官職認証局（SHA-2））

APCA2sub_ocsp.der : 政府共用認証局（アプリケーション認証局2）の中間証明書

2-2. ルート証明書確認手順

キーチェーンに登録した証明書はe-Taxソフト(WEB版)を使用するための信頼の基点となるものですので正しい証明書が登録できているか確認する必要があります。以下の方法で登録した証明書が正しいものであるか確認してください。

キーチェーンアクセスを起動します。

- 1 起動したキーチェーンアクセスのキーチェーンから **システム** を選択します。



注意

- 平成 28 年 9 月以前に配布された政府共用認証局 (アプリケーション認証局 2) の中間証明書を既に登録している方は、同じ名前のキーチェーン「ApplicationCA2 Sub」が複数表示されます。複数表示されていても動作に影響はありません。

名前	種類
ApplicationCA2 Sub	証明書
ApplicationCA2 Sub	証明書

- 平成 29 年 1 月以前に配布された政府共用認証局 (アプリケーション認証局) のルート証明書を既に登録している方は、キーチェーン「ApplicationCA」が表示されます。表示されていても動作に影響はありません。

名前	種類
ApplicationCA	証明書

2 登録した証明書をダブルクリックします。

登録した証明書は、以下のように表示されます。

政府共用認証局（官職認証局（SHA-2）） : OfficialStatusCA

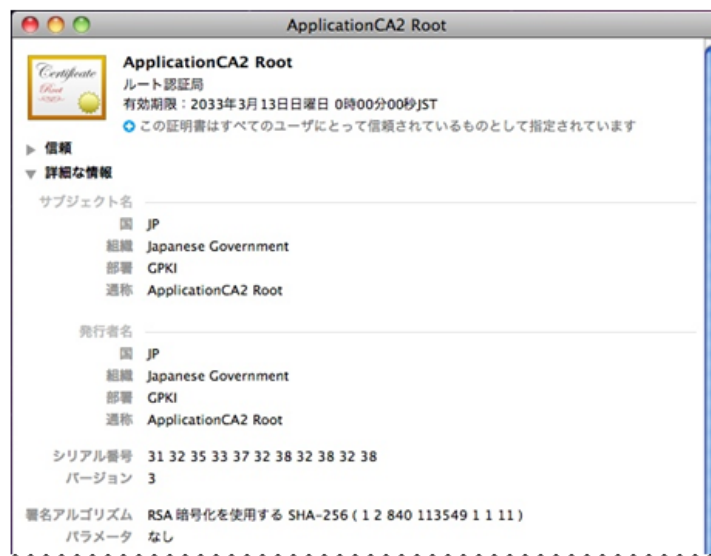
政府共用認証局（アプリケーション認証局2）: ApplicationCA2 Root

政府共用認証局（アプリケーション認証局2）の中間証明書 : ApplicationCA2 Sub

3 ルート証明書の詳細が表示されるので、ルート証明書の指紋（フィンガープリント）が以下の URL に記載されているフィンガープリント値と等しいことを確認します。

各認証局のフィンガープリント : https://www.gpki.go.jp/selfcert/finger_print.html

例 政府共用認証局（アプリケーション認証局2）の場合





同様に政府共用認証局（官職認証局（SHA-2））のルート証明書、政府共用認証局（アプリケーション認証局2）の中間証明書の指紋（フィンガープリント）を確認します。